

2007年(平成19年)12月17日(月曜日)

フロー制御の実演に成功

次世代アプリケーション伝送に活路

アグラ
ナなど

普及させることができるほか、低コストで次世代インターネットへの移行が容易になるという。

米国学術研究コンソーシアムと米国アナグラン社は

共同で、超高性能フロースイッチングネットワーク(HPSnet)の実

演デモを、同国ネバダ州リノ市で開催されたSC07コ

ンファレンス会場で実施した。フロー制御は、映像系

など大容量アプリケーション伝送のニーズに応える技

術として期待されており、今回の実演デモにより実用

化に一步前進することになる。

実証デモでは、シカゴと

リン間でフォトニクスネット

ワークを使って、10ギビット/秒の大容量通信を行った。具体的には、大学とハ

イテク企業が参加するコン

ソーシアムによって考案さ

れた超高性能ネットワーク

「ナショナルラムダ・レイ

ル(NLR)」と国際的な

アプリケーションネット

ワークである「ナショナル

テラ・フロー・ネットワー

クを使用。アナグラン社

ノースウエスタン大学の先端インターネット国際研究センター(iCAIR)、

イリノイ大学の国立データマイニングセンターなどの協力で、ネットワークの

エ

保証したブロードバンドテ

リバーなどを実現した。

アナグラン社は、FRI

1000フルータ製品

を提供し、学術研究ネット

ワークを介したネットワー

クトラフィックをきめ細か

く制御。企業間を国内外の

ネットワークを介して高品質のコミュニケーション

サービスを提供できることを証明した。同社の技術を

利用することでネットワー

ク自体の制限に関係なく、データ集中型コンピュー

ティング、デジタルメディア

ア、三次元モデリング&シ

ミュレーション、メディア

カ

ルイメーションといった次

世代アプリケーションを

日本ではアナグラン製品の総販売代理店契約を結んでいるテリロシー(東京都千代田区、津吹憲男社長)の新美竹男取締役は「フロー技術を使った制御に成功したことは大きい。これまで制御できなかった次世代アプリケーションを利用できるようにした極めて画期的な実演」と評価した。

アナグラン社はこのほど、インターネットの父と呼ばれたローレンス・ロバーツ氏から、元シスコシステムズの営業部門責任者だったキム・ニードマンへとトップが交代。戦略的に営業部門を強化しており、今後のフルータ製品の市場投入が期待される。